



2018 年度日本健康教育学会主催セミナー（学術委員会企画）

アクションリサーチの 理論と実際

先着
60名
事前申込制

— 実践家のためのアドボカシー講座 —

地域や職域、学校などで実践されている事業や政策を健康教育・ヘルスプロモーションの観点から評価・分析し、効果的な事業や政策の立案や改善につなげるためには、組織や社会の変化を目指したアクション（アドボカシー）が必要です。

実践家と研究者が協働して、実践→研究→実践を繰り返しながら進める実践活動を改善する一連の研究活動がアクションリサーチ（Lewin K, 1946）です。

本セミナーでは、アクションリサーチの理論や方法を学ぶとともに、具体的なテーマごとに事例検討を通して研究の手法やプロセスについて理解を深め、今後の活動に役立てることをねらいとしています。すでにアクションリサーチに取り組まれている方やご関心のある方のご参加をお待ちしています。

2019.1.27 (SUN) 10:00⇒16:00

会場 女子栄養大学 駒込キャンパス香川綾記念生涯学習センター 3階センター講義室
(東京都豊島区駒込 3-24-3) JR 山手線・東京メトロ南北線駒込駅より徒歩 3分

参加費 正会員 3,000 円 非会員 5,000 円 学生会員 1,500 円
学生（非会員）2,000 円 ※ お弁当を含みます



主なプログラム

開会挨拶 学術委員会委員長 中村正和（（公社）地域医療振興協会）

第1部 基調講演

地域の健康づくりにおけるアクションリサーチの可能性
齊藤恭平氏（東洋大学 教授）

指定発言「ヘルスプロモーション活動におけるアクションリサーチ」
学術委員会委員 助友裕子（日本女子体育大学）

昼食・分科会に移動

第2部 分科会

事例検討を通じてアクションリサーチを味わう

事例報告とディスカッション

第3部 全体会・総括

分科会の内容を全体で共有し、理解を深める
ジグソー法またはワールドカフェ

総括

閉会挨拶 理事長 神馬征峰（東京大学大学院）

日本健康教育学会学術委員会
(分科会コーディネーター)

委員長： 中村正和（公益社団法人 地域医療振興協会）

委員（50音順）：上地 勝（茨城大学）

江口泰正（産業医科大学）岡浩一朗（早稲田大学）

小橋 元（獨協医科大学）助友裕子（日本女子体育大学）

武見ゆかり（女子栄養大学）野津有司（筑波大学）

福田吉治（帝京大学）吉池信男（青森県立保健大学）

アドバイザー：村山 伸子（新潟県立大学）

申込方法

本学会のホームページの専用フォームよりお申込みください。

URL: <http://nkg.eiyo.ac.jp/privacy/pg949.html>

E-mail でもお申込みいただけます。

一般社団法人日本健康教育学会事務局

埼玉県坂戸市千代田 3-9-21

女子栄養大学食生態学研究室内

TEL: 049-283-2310 E-mail: nkgg@eiyo.ac.jp

